

JAAF
SHIGA

滋賀陸協広報

〒520-0037 大津市御陵町4-1 皇子山陸上競技場内2-1室
Tel/fax077-527-3925 <http://srkshiga.com>

「アスリートファースト」で考えていこう

専務理事 坂一郎

滋賀陸協広報第2号ができました。創刊号は、会長のメッセージを掲載させていただきましたが、第2号から専務の「坂」がその時ごとのメッセージを伝えていき、より多くの反応をいただければと考えていますので、広報委員長共々宜しくお願いいたします。

さて、平成30年度のシーズンも後半に入ろうとしています。「国体」「駅伝」に向け強化関係のスタッフの方々には、指導力のレベル評価を含めて、ご苦労いただくこととなりますが、ベストを尽くしていただく事をお願い申し上げます。

ところで、最近様々な競技において、ドーピング、パワーハラスメント、暴力行為などの問題がスポーツ界を揺るがしています。こうした問題の背景・要因については、勝利至上主義、行き過ぎた上意下達や集団主義、科学的合理性の軽視といった、日本のスポーツ界の悪しき体質・弊害があるという厳しい指摘がなされています。平成23年10月に一般財団法人として出発をいたしました「一般財団法人滋賀陸上競技協会」ですが、法人としての「自覚」と「責任」が十分に機能しているとは思えません。これは、私の責任ではありますが、今一度組織に関わる役員（理事・監事）登録審判員、登録選手のそれぞれの立場での「コンプライアンスの確認」「アスリートファーストの意識」をしっかりとしていきたいと思えます。

アスリートの皆さんへは次の言葉を贈ります。

「壁は高くても目標を見据えベストを尽くしてほしい」

2024年滋賀で開催されます国民スポーツ大会の準備につきましては、①強化②競技役員（審判員）③施設等諸問題が山積していますが、登録者各位の協力の下、取り組んでいく所存ですのでどうか宜しくお願いを申し上げます。第2号の挨拶といたします。

強化委員会

福井しあわせ元気国体へ向けて

今年度福井国体は、10月5日(金)～9日(火)の5日間、「9.98 スタジアム：福井県営陸上競技場」で開催されます。出場選手29名(男子16名・女子13名)のうち、A標準突破者10名、その他の選手も全員がB標準を突破しての選考となりました。

8月15日(水)に滋賀県陸上競技選手結団式を行い、国体へ向けての想いを共有し team 滋賀として全体ミーティングを行いました。また8月21日(火)～23日(木)の3日間、三重県で強化合宿を行い、本国体へ向けて選手の状況確認を行いました。9月には、近畿ユース・全日本インカレ・全日本実業団など各カテゴリーにおいて重要な大会が予定されています。各大会でも所属チームの代表として、大きな結果を達成してくれると思います。本国体では、桐生選手が昨年日本人初の9秒台を出したスタジアムで、選手全員が

team 滋賀の誇りを胸に、目標達成へ向けて取り組んでいきます。



1 月には全国都道府県駅伝が(男子：広島、女子：京都)行われます。国体同様、team 滋賀として躍進を目指します。11 月に選手選考を行い、12 月からは強化練習・合宿に入ります。

普及委員会

第 34 回日清食品カップ全国小学生陸上競技交流大会

8 月 18 日(土)、島孝志団長のもと、県内各チームから県大会を勝ち抜いた 22 名の選手が日産スタジアム(横浜市)で行われた第 34 回全国小学生陸上競技交流大会へ参加しました。

猛暑の今夏の中にあっては、少し涼しい 30℃に届かない絶好のコンディションで迎えることができました。

レースは、男子 4×100mR 決勝 5 位など、子ども達が、持てる力を十分に出し、全国大会の感動、緊張、刺激を得ることができました。

めざすは 2024 年滋賀国体です。

【リザルト】

種目	選手氏名	所属	記録	
男子 4×100mR	北川 裕基・阿辻 雅生 手崎 真志・松居 慶眞	長浜市陸上教室	51" 48	予選 1 組 2 位
			51" 65	A 決勝 5 位
男子 5 年 100m	市川 仁大	日野ミニ陸上	13" 99	予選 4 組 6 位
男子 6 年 100m	平川 寿哉	甲賀 JAC	13" 42	予選 4 組 8 位
男子 80mH	村田 珀人	甲賀 JAC	13" 88	予選 4 組 8 位
男子走高跳	石田 遥士	びわこ RUNNERS クラブ	1m25	決勝 40 位
男子走幅跳	西川 大貴	栗東陸上教室	4m70	決勝 20 位
男子ジャベリックボール投	西野 壱星	LAKES 甲賀	40m01	決勝 46 位
男子友好 100m	宮川 善貴	長浜市陸上教室	14" 33	5 組 1 位
女子 4×100mR	若狭 柚花・山川 なつみ 藤田 季恵・田中 瑛美莉	東近江陸上スポーツ少年団	56" 76	予選 6 組 7 位
女子 5 年 100m	山口 華穂	S.P.kimura 走塾	14" 52	予選 4 組 7 位
女子 6 年 100m	高橋 里亜	びわこ RUNNERS クラブ	13" 93	予選 5 組 6 位
女子 80mH	楠 奈那	草津 JAC	14" 52	予選 4 組 8 位
女子走高跳	中島 寧音	長浜市陸上教室	1m20	決勝 44 位
女子走幅跳	西村 百夏	守山陸上教室	3m98	決勝 38 位
女子ジャベリックボール投	中田 伶泉	雄琴小学校	39m37	決勝 40 位
女子友好 100m	上田 奈々	東近江陸上スポーツ少年団	15" 84	2 組 8 位

高体連

6月16日～19日に皇子山陸上競技場で行われた、近畿 IH 地区予選において、過去最高の人数となる32人が全国 IH の出場権を獲得しました。地元滋賀県での開催と言うこともあり、地の利を生かすことができたのだと思いますが、一重に選手や顧問の先生方の日々の努力の積み重ねが結果として表れたのではないかと思います。

全国 IH は8月2日～6日に伊勢市の三重交通 G スポーツの杜陸上競技場で行われました。エントリーランキングでは男子200mの澤大地選手（草津東）が2位、男子800mの湊優貴選手（守山）が1位、男子1500mで居田優太選手（草津東）が8位、男子5000mWで片岡龍也選手（滋賀学園）が4位、男子砲丸投で中村涼汰選手（草津東）が7位、円盤投の上野天詩選手（滋賀学園）が5位、やり投の榎田悠希選手（八幡）が9位、女子200mで下村日向子選手（近江兄弟社）が4位、女子やり投で木村玲奈選手（近江）が1位と、トップ10に名を連ねる種目もかなり多かったのですが、入賞者は男子200mの澤大地選手が6位、男子5000mWの片岡龍也選手が2位と、力を十分に発揮しきれない結果でした。10月に行われる「福井しあわせ元気国体」に出場する選手は、この雪辱を果たしてほしいと思います。

また、男子200m、男子800m、男子4×100mR、男子4×400mR、男子砲丸投、女子200m、女子3000m、女子4×100mR、女子4×400mR、女子やり投において県高校新記録が誕生しました。中でも女子やり投の木村玲奈選手は全国の高校2年生歴代ランキング4位となる素晴らしい記録であり、更なる記録の更新が期待できます。



中体連

平成30年度 全国大会の結果

平成30年度の全国大会では、城山中学校の治武杏祈選手3位入賞し、滋賀県勢としては昨年度に引き続き入賞するという素晴らしい結果をおさめてくれました。しかしながら、昨年の四種目入賞に比べると、やや寂しい結果でもあるといえます。

入賞者以外を見てみると、ここ数年の滋賀県チームを見ていると、冬季から夏季への成長が著しく、チーム滋賀一丸となって強化に当たっている成果が出てきているとも言えます。入賞こそ逃しましたが、守山中学チームが女子4×100mRで準決勝に進出、野洲北中学校の溜池一太選手が3000mにおいて決勝進出を果たすなど、強化の成果はしっかりと出てきているよ



うに思います。

今後の課題点は、滋賀県勢としては今年度も短距離種目での全国出場が多く、他種目の強化が必要とされています。今年度の結果を踏まえ、来年度の大阪全中に向けて多種目出場ができるように事業の継続と見直しが求められる。

老マスタース

第39回全日本マスターズ陸上競技選手権 鳥取大会に向けて

年々大会に出場する人が増え、滋賀県からは、一昨年度の新潟大会は37人、昨年度の和歌山大会は67人、そして今年度、9月22日から24日まで開催される鳥取大会は50人がエントリー。その意気込み(楽しみ)を聞いてみました。

*「ケガや故障にもめげず、今年も全日本マスターズ陸上競技選手権大会に参加して、私の出場する全種目の表彰台を狙います。」 <W60 短距離>



*4月はじめに鎖骨脱臼という怪我をし、3ヶ月間プレート固定を余儀なくされ、7月半ばに除去手術を経てからの、今回の全日本大会に臨むことになります。肩の可動域がまだまだ狭いのですが、それでもM60の100m200mの優勝を目指し、急速に仕上げていきたいと思っています。実現すれば前人未到の短距離二冠10連覇となり、達成に向け頑張ります。

<M60 短距離>



全国の地域を巡り、その特色に触れることも楽しみの一つです。競技を終えてから温泉にゆっくりつかり、美味しいご馳走を食べて来ます。 <W65 長距離>



*50歳を迎えた翌年の2008年、全日本マスターズ駅伝鳥取大会に出場しました。あれから10年、大怪我で「もう走れない」と不安に駆られた時期もありましたが、還暦を過ぎた今年、「まだ走れる」喜びを胸に全日本マスターズ選手権鳥取大会に臨みます。

<M60 長距離>



*全国の友人と再会できることを楽しみに、またライバルとは闘志を露わにして、古希一步前の陸上競技を大いに楽しみたい!! <M65 投てき>



それぞれの思いを胸に、怪我のないように楽しんで来て下さいね。 VIVA MASTERS !!



昨年の和歌山大会



《 編集後記 》

各委員会や関係団体の情報を今後も掲載していきたいと思います。今回は夏の大きな大会の結果をもとに原稿を依頼しました。

11月3日（土）甲賀市水口スポーツの森にて第3回滋賀小学生チャレンジフェスタ（シガリク）を開催します。平成36年の滋賀県彦根市で開催予定の国民スポーツ大会の選手発掘を目指しています。

次回は年明けに秋のシーズンの結果や都道府県駅伝の情報などを掲載したいと思います。今後も関係機関の協力の下、情報を発信していきたいと思います。